

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【公表番号】特表 2013-541246 (P2013-541246A)  
 【公表日】平成 25 年 11 月 7 日 (2013.11.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-061  
 【出願番号】特願 2013-523656 (P2013-523656)  
 【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/40 (2006.01)  
 G 0 6 K 19/07 (2006.01)  
 G 0 6 K 19/00 (2006.01)  
 H 0 1 P 11/00 (2006.01)  
 B 6 0 C 19/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 Q 1/40  
 G 0 6 K 19/00 H  
 G 0 6 K 19/00 Q  
 H 0 1 P 11/00 N  
 B 6 0 C 19/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 8 日 (2014.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コア ( 1 8 ) を有するアンテナ ( 1 2 ) の製造方法であって、前記アンテナは、ゴムコンパウンド、特にタイヤのゴムコンパウンド中に一体化されているようにになっている、方法において、

糸状の前記コア ( 1 8 ) を前記コア ( 1 8 ) の材料とは異なる材料の被膜 ( 2 0 , 2 2 , 2 4 ; 2 6 , 2 8 ) で被覆し、

被覆ステップ後、前記被覆状態のコア ( 1 8 ) の少なくとも一部分を塑性変形させる、方法。

【請求項 2】

前記被覆状態のコア ( 1 8 ) の前記一部分を塑性変形させてこれに螺旋の形状を与える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記コア ( 1 8 ) を電磁信号伝送層 ( 2 0 ) で被覆する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記伝送層 ( 2 0 ) は、銅で作られている、請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記コア ( 1 8 ) を前記伝送層 ( 2 0 ) で直接被覆する、請求項 3 又は 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記コア（１８）を化学的隔離層（２２）で被覆し、前記化学的隔離層（２２）は、前記化学的隔離層（２２）による被覆物から前記ゴムを化学的に隔離するようになっている、請求項 １乃至５の何れか１項に記載の方法。

【請求項 ７】

前記伝送層（２０）を前記化学的隔離層（２２）で直接被覆する、請求項 ６に記載の方法。

【請求項 ８】

前記化学的隔離層（２２）は、例えば亜鉛、ニッケル、錫及び黄銅から選択された実質的に純粋な金属又は金属の合金で作られている、請求項 ６又は７に記載の方法。

【請求項 ９】

前記コア（１８）を電磁信号伝送／化学的隔離層（２６）で被覆する、請求項 １又は２に記載の方法。

【請求項 １０】

前記コア（１８）を前記伝送／化学的隔離層（２６）で直接被覆する、請求項 ９に記載の方法。

【請求項 １１】

前記化学的隔離層（２２）又は前記伝送／化学的隔離層（２６）を前記ゴムへの前記アンテナ（１２）の接着のための外側接着層（２４）で被覆する、請求項 ６乃至１０の何れか１項に記載の方法。

【請求項 １２】

前記外側接着層（２４）は、亜鉛、ニッケル又は黄銅から選択された、請求項 １１に記載の方法。

【請求項 １３】

前記化学的隔離層（２２）又は前記伝送／化学的隔離層（２６）を前記接着層（２４）で直接被覆する、請求項 ６乃至１２の何れか１項に記載の方法。

【請求項 １４】

前記アンテナ（１２）は、１つ又は複数の前記被覆ステップ後、前記アンテナを加熱することによって熱処理を受ける、請求項 １乃至１３の何れか１項に記載の方法。